

予算決算委員会の審査概要

全議員参加により平成26年度決算、平成27年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

総括質疑（平成27年9月17日、18日）

自民党

質疑1 予算流用について

平成26年度の予算流用件数と総額は。また、流用の実態を分かりやすく明示すべきではないか。

質疑2 負担金補助及び交付金について

各種団体への運営補助の交付についての可否判断基準は。補助金の交付先は明示すべきではないか。また一部の助成金において二重交付となっていないか。防犯灯取替（LED化）補助については不用額を活用し地域の要望に応えるべきではないか。

質疑3 決算状況に対する市長の所感について

財政健全化判断比率は改善している一方で市債残高と債務負担行為額は増加しているが、今後大型施設の整備を含めどのような財政運営を心がけていくのか。

質疑4 人件費の時間外勤務手当について

人件費の抑制については、職員がコスト意識を高めることによって事務業務のミスや不祥事の発生を防ぎ、時間外勤務に波及しないよう努めること。

質疑5 団体への補助金について

補助金交付額の変動幅については、変化の見受けられない団体が9割を占める。交付先の団体活動の形骸化防止のためにも事業費補助の更なる精査を行い団体活動の活性化を促すこと。

質疑6 業務委託について

業務委託を選定する際の随意契約等の事務については、ガイドラインに沿いながら、市が公開する仕様書の積算根拠から契約理由まで限らない透明性の確保に努めること。

質疑7 一般会計決算状況について

少子高齢化が進展する中、本市の財政は硬直化の傾向にある。持続可能な行政サービスを提供するためには、独自に自主財源の確保や更なる事業の選択と集中に努めると共に公正公平な受益者負担の在り方について検証を進めてもらいたい。

質疑8 国民健康保険事業について

赤字解消に向け、がん検診をはじめ特定検診の受診率向上のため、メニューの充実等、予防医学の推進を図り医療費の適正化に努めること。

質疑9 交通安全推進事業について

高齢者の交通事故が増加傾向にあるので、地域や関係機関との連携を深め、防止対策について取り組んでもらいたい。



市民連合

質疑1 魚介類の種苗放流について

白川でアユ放流の時期はいつか。



質疑2 地域スポーツ活動について

白川レガッタを民間団体が計画したことがある。開催されなかったのは北口和皇議員がアユの遡上に影響するから反対したためと聞いた。放流の時期は違う。本当に影響するのか。

質疑3 境界立会業務について

局長自ら境界立会に出向いたのは、北口議員が不当に要求したからではないか。

質疑4 農業生産基盤整備について

画図地区の水路工事等は北口議員が了解せず中止とした。工事予算を議決した議会の軽視でもあり、毅然とした対応をとるべきだ。市長の見解を求める。

質疑5 白川の治水について

立野ダムは時間がかかり、問題点も多い。鬼怒川の堤防決壊の例もある。ダムより堤防強化や河川拡幅を優先すべきだ。

質疑6 教育相談等事業について

いじめや不登校等の対策として、年度内のスクールソーシャルワーカーの増員や先駆的な取り組み等を行うべきだ。

質疑7 学校安全推進事業について

子どもたちを交通事故や犯罪等から守るためには、学校のみならず保護者や地域等との連携が重要である。

公明党

質疑1 決算における歳入について

熊本市は主財源比率が政令市中最下位であり自主財源の確保が重要である。しかし平成27年2月に公表された市の中期財政見通しでは、経済情勢の変化が考慮されていない。経済情勢を加味した中期見通しのシミュレーションを示し、市民や議会に対してより現実的な本市の将来財政の見通しを示す事を求める。

質疑2 交通事業について

- 「経営健全化計画」のもと、バス事業を都市バスへ移譲し、経営改善に努めたことに敬意を表す。
- 基幹バスの推進などを求める。
- 市電の延伸や基幹交通としてのサービス向上を求めるとともに、経営基盤の改善を進めてもらいたい。



くまもと未来

質疑1 債務負担行為に基づく契約等について

- 債務負担行為残額が平成26年度末に637億円と倍増しているが、その主な要因は。また現状をどのように認識しているか。
- 指定管理者の経営努力によって収益増が見込まれる施設については、それをサービスの充実に充てられるような仕組みが必要ではないか。

質疑2 決算関係資料について

市政の現状を知ってもらう絶好の機会と捉え、積極的に市民にとっても分かりやすい資料作成を。

共産党

質疑1 桜町再開発450億円の税金投入、情報公開と説明責任を果たすべき

民間施工の桜町再開発は、総事業費700億円の6割以上434億円を税金で負担するもの。徹底した情報公開と説明責任を果たすべき。



質疑2 学校施設等への維持修繕経費の拡充について

小中学校から多岐にわたる修繕要望があげられている。予算を増額し、危険箇所の改善等、安全な教育環境の整備に取り組むべき。

くまもと創生

質疑1 決算状況における財政課題について

財政基盤が弱く硬直化している本市財政の課題解消とともに、臨時財政対策債（※3）を含めた市債全体での抑制に取り組むことで、次世代先送り型の財政構造を早急に改善すべき。

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページをご覧ください。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。